

**平成 29 年度新潟県計画に関する
事後評価
(30 年度事業実施分)**

**令和 2 年 1 月
新潟県**

3. 事業の実施状況

事業の区分	1. 地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設又は設備の整備に関する事業	
事業名	【No. 2 (医療分)】 回復期リハビリテーション病棟等施設 設備整備事業	【総事業費】 1,165,426 千円
事業の対象となる区域	全県	
事業の実施主体	病院	
事業の期間	平成 29 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	高齢化の進展に伴い、病院における回復期病床への転換を推進する必要がある。 アウトカム指標：29 年度基金を活用して整備を行う不足している回復期病床数 3,449 床	
事業の内容（当初計画）	地域における機能分化を推進するため、回復期リハビリテーション病棟や地域包括ケア病棟開設等に係る施設整備費や医療機器等購入の設備整備費を補助する。	
アウトプット指標（当初の目標値）	回復期病床への転換を行う病院数：5 病院	
アウトプット指標（達成値）	平成 30 年度：新潟圏域における 1 病院の地域包括ケア病床（21 床）への病床機能転換に対する補助を実施。	
事業の有効性・効率性	事業終了後 1 年以内のアウトカム指標：観察できなかった (1) 事業の有効性 本事業の実施により、新潟圏域の一部において、回復期及び高度急性期の医療を担う病床が整備されたところであり、当該地域における医療機関相互の機能分化と連携体制が一層推進されたと考える。 (2) 事業の効率性 事業開始前の段階から、病院・市町村が一体となって地域で必要な病床について検討を行ったことにより、地域医療構想策定前においても、一定の共通認識を得て施設整備を行うことができた。地域の合意のもとで機能分化が促進されたことで、効率的な医療提供体制の構築が着実に前進したと考える。	

その他	平成 29 年度分 : 319,107 千円 平成 30 年度分 : 166,488 千円 平成 31 年度分 : 97,118 千円
-----	---